



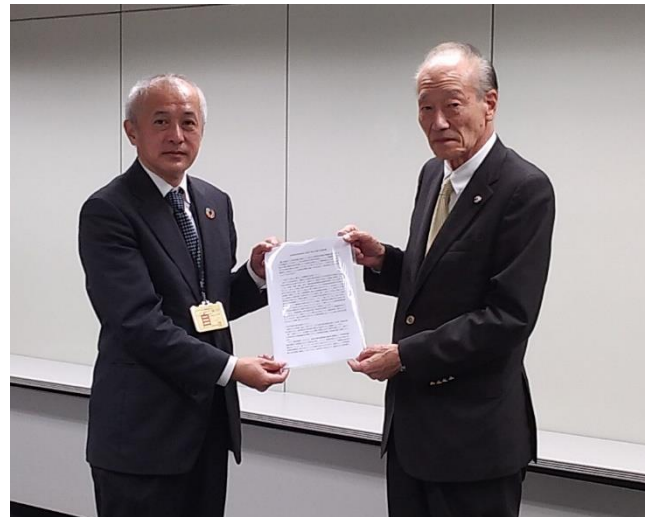
**国土交通省水管理・国土保全局砂防部との懇談及び草野砂防部長へ要請を行いました。**

令和5年10月27日(金)16時から砂防会館別館会議室において当協会原裕会長から草野慎一砂防部長に対し、地すべり防止工事士の積極的な活用、防災対策予算の確保、現場実態を適切に反映した斜面防災対策工事の設計・積算の実施、斜面防災対策の未来を担う人材の確保育成について要請を行いました。砂防部からは各項目に対しご回答を頂き、工事士の活用、予算の確保、現場実態を適切に反映した斜面对策工事の設計・積算の実施や人材の育成など、今後とも砂防部としても力を入れて対応していきたいと力強いお言葉を頂きました。砂防部からは、草野部長のほか蒲原潤一保全課長、植野利康砂防施設評価分析官、吉野睦土砂災害対策室長、渡邊剛保全課課長補佐にご出席いただきました。

要請のあと、南哲行副会長の進行で懇談会が行われ、出席した各支部からも説明、要望、意見などが述べられました。



原裕会長の挨拶



草野砂防部長（左）と原会長（右）



砂防部の皆様（左から吉野室長、蒲原課長、草野部長、植野分析官、渡邊課長補佐）



## 斜面防災対策技術への取り組みに関する要望書

国土強靱化5カ年加速化対策により強力に斜面防災施設の整備を進めていただき感謝申し上げます。(一社)斜面防災対策技術協会としても、閣議決定された新たな国土強靱化基本計画により加速化対策がより一層促進されるのを機に、以下の活動を強力に実施していきたいと考えております。その中には砂防行政機関のご支援なくしては成果を期待し難いものもあり、砂防部のご支援を要望させていただきます。

### 1. 「地すべり防止工事士」の積極的な活用について

地すべり対策業務は、調査から施設の維持管理までその技術的な特性から専門家の技術力が必要不可欠です。品質のよい施設を安全かつ確実に整備していくため、調査、計画、設計、施工、維持管理業務等の配置技術者に対する必須要件として、地すべり防止工事士資格を指定する、または技術者評価項目での優先資格や加点する等、地すべり防止工事士資格が活用されることを協会として発注機関に要請しています。調査業務に関わる技術者の評価として、技術士など幅広い技術的な知識を持つ資格を有している場合、更に、地すべり防止工事士など専門的な知識を持つ資格を保持している場合は加点評価されることになり技術者としての意識向上につながっています。一方で、工事においては一級土木施工管理技士という横断的な資格を有している場合、専門的な知識を持つ資格を保持していても評価されない状況になっています。工事についても調査業務同様に専門的な知識を持つ資格を加点されるよう要望しています。

とりわけ、都道府県工事の割合が多い斜面防災対策に対しては都道府県のご理解が不可欠です。協会としても工事士の活用について都道府県に働きかけてまいります。国土交通省におかれても都道府県においても工事士資格が活用されるようお願い申し上げます。

### 2. 防災対策予算の確保について

激甚化する災害に鑑み、地すべり、がけ崩れ等の斜面災害から生命・財産の保全を期すため、斜面防災対策事業を強力に推進するよう要請いたします。

特に、地すべりは一旦滑動すると対策に時間と多大な費用を要します。地すべり対策をはじめ斜面防災対策について「事前防災対策」の推進を強く要望いたします。

また、既存施設についても、施設の健全度評価を適切に実施し、「予防保全型維持管理への転換に向けた老朽化対策」として、斜面对策工(とりわけ集水井、集水ボーリング、杭、アンカーなどののり面工など)について、計画的な老朽化対策を効果的に進められることが重要を考えております。協会としても新技術、新工法も研究、提案してまいります。砂防部におかれても、是非ともご活用賜り、





斜面防災施設の長寿命化対策を推進されますよう要望いたします。

3. 現場実態を適切に反映した斜面防災対策工事の設計・積算の実施について

集水井工や集排水ボーリング工の機能回復に必要な孔内洗浄工についての合理化調査を実施していただき有難うございます。斜面防災対策工は、急傾斜地などでの施工から仮設工事に多大な費用を要する工事です。これらの地域条件、現場条件等を適切に反映した積算、歩掛の適用を要望いたします。

4. 斜面防災対策の未来を担う人材の確保育成について

斜面防災対策は、保全対象のある斜面の上部での工事で、設計段階でも、施工中でも、判断を誤ると人命に直結する重要な業務です。

地すべり防止工事士資格保有者が担当することなどで業務の信頼性は担保されています。これらの良質な斜面对策を安定して推進していくためには、高度な知識、経験を必要とする技術者が着実に養成され、未来に繋がっていくことが重要です。

若手人材を確保し、高度な技術者に育成していくには、担当技術者自らが技術向上へ切磋琢磨するモチベーションが保持されることが重要です。斜面防災対策業務に携わる技術者が誇りを持ち、社会的地位が確立することは優秀な後継者が確保されるため、協会では人材育成委員会を新たに設置して協会挙げて強力に対応してまいります。

斜面对策に携わる技術者を育成するためには、産学官挙げての対応が不可欠と考えます。国土交通省におかれても斜面防災対策業務に携わる技術者の地位の向上にお力添えをお願い申し上げます。

令和5年10月27日

一般社団法人斜面防災対策技術協会  
会 長 原 裕

